



CIPFA Japan News Letter

10/08/2017
第 2 号

第 2 号の内容

日本支部長挨拶

- 1 ケンジントン&チェルシー・ロンドン特別区の事務総長が辞任
- 2 CIPFA 事務総長 ロブ・ホワイトマン：女王スピーチへのコメント
- 3 EU 離脱交渉についてロブ・ホワイトマン事務総長からのコメント
- 4 財政問題を避けてはならない：CIPFA 次期理事長 A.Burns 氏
- 5 より良い公共サービスには相応の税負担を
- 6 シェアード・サービスで 600 万ポンドの節減：LGA まとめ
- 7 英国政府の借入 2008 年（3月期）以来の最低水準
- 8 エリザベス女王 誕生日叙勲：公共部門のリーダー
- 9 医療と社会福祉の統合

日本支部長挨拶

2017年7月10日から10日間英国に出張しました。11日から13日まで、今年はマンチェスターで本部の年次総会と年次カンファレンスが開催されました。日本からは、監査法人トーマツの5名の公認会計士、それに、日本支部を代表して2名が一連の行事に参加しました。11日の年次総会後には President Dinner が開催され、7名全員が世界各国から出席の約200名と晚餐をご一緒しました。カンファレンスには、国際会計士連盟 IFAC の国際公会計審議会 IPSASB 会長のイアン・カルザース氏（CIPFA 国際名誉局長）や IFAC 前事務総長のイアン・ボール氏などの参加もあって、大変ににぎやかな国際会議として成功裏に開催されました。日本支部のメンバー7名はその後、スコットランドに移動して、エジンバラとグラスゴーで、スコットランド会計検査院、CIPFA スコットランド、エジンバラ大学などを訪問しました。スコットランドにおける一連の行事は、エジンバラ大学のオズボーン教授（日本支部名誉会員）にアテンドしていただきました。教授の友情溢れる対応を心底ありがたく感じました。

私のほうは17日には CIPFA 本部を訪問し、Orr 教育局長と Barr 会員部長と日本支部と韓国支部のあり方、また、アジア太平洋地区における CIPFA の社会貢献について、戦略会議をもちました。この会議では、地方監査会計技能士が、英国内で試験なしに英国勅許公共財務会計士（CPFA）の資格を取得するための Bye-Law5（CIPFA 定款第5条）の運用について意見交換を行いました。英国には現在、国家資格等のランキング（レベル0～レベル8）があります。CIPFA 準会員（地方監査会計技能士）のレベルは4で、これは英国に存在する公認会計士協会の一つである ACCA が授与する勅許公認会計士（CCA）と同ランクです。CIPFA の CPFA はレベル7。ICAEW の勅許会計士もまたレベル7です。このランキングでは、レベル8に博士学位、レベル7に高度な修士学位が規定されています。この基準に沿って現在、日本支部では地方監査会計技能士で修士学位（具体的には MBA と会計修士等）を有する者（ただし、日本支部共同創設者の推薦が必要）を CPFA に認定（希望者に限定）する手続について、最終調整を CIPFA 本部と行っています。

CIPFA の資格認定は、英国政府が定めた標準ランキングに基づいて適正に行われています。それゆえ、CIPFA のタイトルは旧英国連邦を中心とする世界各国において、常に高い評価（正しい評価）を受けています。カナダ、オーストラリア、NZ、アジアやアフリカの旧英国連邦加盟各国での活動を予定される地方監査会計技能士にとって、CPFA の資格は大きな社会的信頼のステータスとなっています。

石原俊彦（日本支部長）

1 ケンジントン&チェルシー・ロンドン特別区の事務総長が辞任

出典：Public Finance 2017年06月22日（木曜日）

警察によると少なくとも 79 人が死亡したとされる大規模火災を受けて、ケンジントン&チェルシー・ロンドン特別区の事務総長が辞任しました。

グレンフェル・タワーの大規模火災に対する区の初動対応について厳しい批判を浴びるなかで、昨日、ニコラス・ホルゲート事務総長は、早急に辞職すると発表しました。元財務省職員であるホルゲート氏は、任務を全うしたかったこと、そして、辞職を強要されたとして、コミュニティ・地方自治大臣のサジド・ジャビド氏への批判を声明で伝えました。声明のなかでホルゲート氏は「コミュニティ・地方自治大臣が、区長に私を辞めさせるよう要求した」と語っています。さらに「グレンフェル・タワーの悲痛な惨事に遭われたご家族へ懸命に対応することが自治体の最優先課題である」「非常に厳しい状況下で自治体幹部としての職務を全うしたいが、適切な後任者が任命されたあと、すぐに職を辞する方がよいと決めた」と語りました。コミュニティ・地方自治省は、辞任への関与を否定しました。報道官は「事務総長の選任は、すべて自治体の責任である」と発言しました。ホルゲート氏は、被災者のためにまだまだやるべきことが山積しているという認識を示しましたが、職責に留まろうとすれば、やるべきことに集中できなくなることを認めました。ホルゲート氏の辞任は、ケンジントン&チェルシー・ロンドン特別区による調整が有効に機能していない証左とみなされました。辞任は、救出対応の任務を政府や他の自治体へ付与する決定が日曜日になされたことを受けてのものでした。政府、大ロンドン市、緊急医療サービス、および、赤十字社から構成されるグレンフェル消防対策チームは、大惨事に対処する主体的な役割を担いました。

ケンジントン&チェルシー・ロンドン特別区が、2016 年度決算案において 2017 年 3 月 31 日現在で 274 百万 GBP の積立金を蓄えていたことを示す公文書が取りざたされたあとで、この消防対策チームは発足されています。テレサ・メイ首相は先週、現場の初動対応が十分ではなかったと発言し、火災発生後の週末に謝罪しました。ケンジントン&チェルシー・ロンドン特別区のニコラス・パジエット・ブラウン区長は、ホルゲート氏は 8 年間、両区のために十二分に貢献し、グレンフェル・タワー火災の被災者に対する最大限可能な支援実施においても、最前線で指揮していたと述べました。

ホルゲート氏の辞任は当然であると、労働党影の内閣で住宅大臣を務めるジョン・ヒーリー氏は語りました。ヒーリー氏は、「生存者やその家族が最も支援を必要としていたときに、区は数日間、職務離脱状態で、何もしなかった。そのため、ホルゲート氏は辞任すべきだ」と発言しました。さらに「火災の翌日、私は現場にいたが、区の職員はだれもいなかった。ホルゲート氏はすぐに辞める以外に道はない」と語りました。

本日、テレサ・メイ首相は、下院議員に対し多くの建物で同様の外壁材が火災を起こす可能性があるとして説明しました。さらに、メイ首相は「議場へ来る直前に、外壁材を調査した結果、可燃性のものが多く使用されていると聞かされた」「関連自治体や自治体の消防局にも伝え、建物の安全性確認と被災者への情報提供についてあらゆる措置を取っている」と語りました。メイ首相は「大惨事の生存者に対する入国審査は実施しない。5,500GBP の援助金を受け取ったグレンフェル・タワーの住民は、それを返済する必要がない。この援助金を受け取っても、権利を有するほかの給付金の支給に影響はない」ことを正式に発表しました。

URL: <http://www.publicfinance.co.uk/news/2017/06/chief-executive-kensington-and-chelsea-council-resigns>

訳出：井上直樹（日本支部副支部長）

2 CIPFA 事務総長 Rob Whiteman : 女王スピーチへのコメント

出典 : CIPFA Latest Press Releases 2017 年 6 月 19 日 (月曜日)

予想通り女王のスピーチは、欧州連合からのイギリスの脱退の話が中心でした。しかし、他にも話題にすべきいくつかの喫緊の問題がありました。

まず、持続可能な保健と介護のシステムを確保するために、政府がどのように行動するかについての言及がありませんでした。迅速な行動がなければ、保健と介護の両方の予算が破綻してしまいます。NHS (National Health Service : 英国政府が運営する国民医療サービス) の財政状態を安定させるためには、より現実的で中長期的な財務計画と介護予防への投資が必要です。地方自治体の財政上の最重要課題として、政府における優先順位が高いことを考慮すると、今日の社会保障の問題に対し、女王からの発言がないことは非常に懸念すべきことです。

ウェストミンスター (政府) からの大規模な財源移譲が進められていることに関する言及もありませんでした。英国は先進国のなかでも経済の集権化が進んでいる国の一つですが、実質的な財政力 (現地で資金を調達して支出する能力) が、政府から地方に権限移譲されたケースが多く、証拠により裏付けられています。財源移譲により、インセンティブが創出され、地方の経済再生を促進し、サービスの提供を地域のニーズに近づけることが可能になります。

英国の地方選挙は、そうした財源移譲に向けての重要な一歩ですが、女王のスピーチから地方政府に対するすべての言及が放棄されることは、地方が固定資産税に関する一定のイニシアチブを放棄することと同義です。もちろん、ホワイトホール (政府) が英国の欧州連合離脱に関し注目を集めることも重要ですが、欧州連合からの離脱は独立した問題ではなく、他の公共サービスを犠牲にすべきものでもありません。政府は、欧州連合からの離脱の交渉と同様に、優先的に提供されるべき市民サービスの提供に関する対応に関しても、オープンかつ誠実である必要があります。

URL : <http://www.cipfa.org/about-cipfa/press-office/latest-press-releases/cipfa's-chief-executive-rob-whiteman-comments-on-the-queen's-speech>

訳出 : 松尾亮爾 (日本支部国際理事)

3 EU 離脱交渉について Rob Whiteman 事務総長からのコメント

出典 : CIPFA Latest Press Releases 2017 年 6 月 19 日 (月曜日)

英国勅許公共財務会計協会のホワイトマン事務総長は、英国の EU 離脱交渉開始を受けて次のようにコメントしました。

「本日 (6 月 19 日) から、英国の EU 離脱交渉が始まったが、離脱交渉における議論の核心部分でも、協定についての交渉者たちが、公共部門における EU 離脱がもたらす影響を最低限にとどめるようにすることが重要である。確かに、公共サービスの持続可能性は、英国における経済的福祉全般によって決まり、だからこそ、EU 離脱協定についての局面すべてが公共部門にとって機能することは、重要な意味を持つのである」。

編集者注 : CIPFA のホワイトマン事務総長は、インタビューに応じ、EU 離脱における公共部門の見通しについて説明しました。公共サービスにおける EU 離脱についてのリスクと機会を検証するために、CIPFA は、公共部門における指導者、専門家、エコノ

ミストから成る EU 離脱委員会を設立しています。EU 離脱委員会に関する詳細な情報は、CIPFA のウェブサイト (<http://www.cipfa.org/about-cipfa/press-office/latest-press-releases/cipfa-to-launch-independent-brexit-advisory-commission-to-safeguard-and-boost-the-sustainability-of-public-services>) で確認できます。

URL: <http://www.cipfa.org/about-cipfa/press-office/latest-press-releases/cipfa%e2%80%99s-rob-whiteman-on-brexit-negotiations>

訳出：川嶋徹也（日本支部業務理事）

4 財政問題を避けてはならない：CIPFA 次期理事長 Andy Burns 氏

出典：Public Finance 2017年6月26日（月曜日）

ブレグジットと想定外の総選挙結果は、明らかに財政運営に困難をもたらしていると、CIPFA 次期理事長アンディ・バーンズ氏は述べました。同氏が政治の短期的な不安定による財政の「不確実性」を強調したのは、保守党党首のテリーザ首相が6月8日総選挙で下院での過半数の議席を失った後でした。同氏は「選挙キャンペーンでは公益事業に必要な税負担に関する真摯な議論がなされなかったため、政府は財政問題に立ち帰らねばならない」。「国民が緊縮財政にうんざりしていると言うならば、なにに焦点を当てればよいのだろうか。事業税による学校資金援助と公平な資金調達は依然として必要であり、緑書（※政府試案討議書）プロセスを通じて、NHS と並行して、福祉への十分な投資が必要になってくる」と述べました。

労働党党首のジェレミー・コービンが、相当の追加公共支出を約束し、30議席を増やす勝利を得たが、これは緊縮財政に対する反乱と見なされました。そして、政府の研究機関は、多くの資金を振り向ける領域を特定するために「ミニ歳出見直し」を呼びかけています。上席研究者エミリー・アンドルーズは「真の問題が選挙キャンペーンの間に表面化したか、それらを根拠に基づいて体系的に整理する必要がある」と述べました。

高齢者の長期的な福祉に高齢者の住宅資産を使う「認知症税」と呼ばれる保守党の提案は、非常に人気なく5月までに取り下げられました。この提案が、選挙の波を保守党から労働党に動かしたことは多くの英国民が認識しています。

アンディ・バーンズ（スタッフォードシャー県最高財務責任者でもある）は、社会福祉を「期待している」と語り、パブリックファイナンス誌につきのように述べました。

「政府が重要な中長期の課題として福祉資金援助について話す用意があったことは、非常に建設的である。私たちにはやり方を変えない限り将来はない」。同氏は、ブレグジットに関して政治家によって議題にされたより共同的なアプローチを歓迎し、経済、雇用問題ならびに入国管理において取り入れたより幅広いアプローチを支持しています。同氏は、これがブレグジットの影響であるとして次のように語っています。「過半数の国民が国民投票と総選挙で投票したことに従って、私たちは EU から離脱しようとしている。しかし、それは、国境、法律および EU 資金に対する統制よりもむしろ、経済と公益サービスを考慮したバランスの取れた方法で行われるべきものでなければならない」。

URL :<http://www.publicfinance.co.uk/news/2017/06/dont-dodge-public-finance-problems-says-cipfas-incoming-president>

訳出：益戸健吉（日本支部総務参事）

5 より良い公共サービスには相応の税負担を

出典：Public Finance 2017年06月28日(水曜日)

イギリス国民は公共サービスにより多くの資金が投入されることを希望し、そのための税を喜んで負担するということが、社会動向調査によって明らかにされました。

本日発行された国立社会調査センターの調査によると、インタビューを受けた48%が、健康、教育および社会的便益に多くの資金が投入されるのであれば、これまで以上の税金を支払うことを望んでいると発表しました。この数値は、この10年でも最も高い数値です。インタビューによると、44%の国民が現在と同じレベルの税負担を望んでおり、4%が減税を望んでいます。近年の揺れ動く状況にもかかわらず、10人中6人が歳出増を望んだ1990年代の高いレベルには、今回の結果はまだ達していません。

報告書は「国立社会調査センターの報告書が報じた内容は、現在よりもより国家に期待が高まっていることを示している」と言及しています。また、「政府の歳出増とその費用を負担することを歓迎するが意見が増大することを示す明らかな兆候が出ている」と示しています。

イギリス国民2,942人へのインタビュー結果から、国立社会調査センターは、金融危機とそれに続く緊縮的経済における「左へのシフト」が示されていると言及しています。国立社会調査センターの公共調査の責任者であるロジャー・ハーディング氏は、「人々の緊縮財政に対する許容は限界に達しており、たとえ増税を伴ってもということまで意味している」。「税金と歳出についての左傾化は、国家安全保障と法と秩序における長年続く保守主義傾向と整合性が取れている。すべてにおいて、人々は安定的かつ公平で積極的な国家を望んでいる」と述べています。

今回の調査を受けて、保守党の有力下院議員であるオリバー・レトウィン氏は、保守党政権は公共支出を増やすべきだと提案しました。デイヴィッド・キャメロン政権下における国家戦略担当大臣であったレトウィン氏は、「以前の2回の選挙に比べて、人々は今回の選挙において、現在負担となっている重要な公共サービスである学校への支出、健康への支出、社会保障への支出に関心を高めているようだ」と発言しました。レトウィン氏はBBCの番組で、予算のバランスを保持した財政の信頼性を回復させる努力を継続するよう政府に求めました。同氏は政府の財政が「少しは楽になる」と説明しましたが、決して「大きな散財」にならないようにと、警鐘も鳴らしています。

URL: <http://www.publicfinance.co.uk/news/2017/06/british-people-are-happy-pay-higher-taxes-better-public-services>

訳出：酒井大策（日本支部総務理事）

6 シェアード・サービスで600万ポンドの節減：LGAまとめ

出典：Public Finance 2017年7月5日(水曜日)

地方自治体協会（LGA）によると、シェアード・サービスにより全国で600万ポンド以上の節減が行われていることが明らかにされました。昨日公表された最新のLGAシェアードサービスマップでは、486件のシェアード・サービスで、節減により643万ポンドの効果があつたことが示されています。LGA改善イノベーション委員会委員長のウィリアム・ナン氏は、「われわれの最新のシェアード・サービスマップでは、自治体が協力して金を節約している」と語っています。シェアード・サービスは、もはやイノベティブな自治体だけでなく一般的な自治体においても、公共部門の最も効率的な手法という評価を確固たるものにしました。サービスを改善し、レジリエンス（財政の

回復力) を高め、重要な変化の時期に金を節約する自治体の通常の実行計画として、シェアード・サービスが位置付けられています。

データによると、自治体の 98% が、現在何らかの形態の事務の共同処理に関係しています。ナン氏は、公共部門の他の分野が自治体のこうした事例から学ぶことを提案しています。シェアード・サービス体制は、バックオフィス機能を超えて、医療保健、消防救急、警察などの非伝統的なパートナーシップとも結びつくことが可能です。LGA は、ウェストサセックス (WestSussex) 消防本部とウェストサセックス県との間で、住民が自宅で安全に過ごす方法について協議したことを取り上げました。さらなる成功例として、イングランドの南西部、デボン県庁とサマセット県庁が消費者保護事務を共同処理し、100 万ポンド以上の効率化を達成したことも、取り上げられています。

URL : <http://www.publicfinance.co.uk/news/2017/06/lga-shared-services-save-councils-ps600m>

訳出：関下 弘樹 (日本支部財務理事)

7 英国政府の単年度借入 2008 年 (3 月期) 以来の最低水準

出典：Public Finance 2017 年 6 月 21 日 (水曜日)

最新の数値によれば、5 月における公共部門の純借入は、昨年 5 月に比べて、3 億ポンド減の 67 億ポンドとなりました。

国家統計局の本日の数値によれば、当会計年度の年初から今日まで、英国の借入は 2008 年 (3 月期) 以来、最低水準の純借入れとなった昨年度の同時期と比較して、1 億ポンド減少し 161 億ポンドになっています。

一方、5 月末の公共部門の純借入残高 (公共部門の銀行を除く) は、GDP の 86.5% に相当する 1 兆 7,373 億ポンドに達しました。これは、2016 年度 5 月に比べて 1,216 億ポンドの増加で、対 GDP 比率の 2.9% 増に相当します。

本日の報告書によれば、国家財政は、政府のより強力な歳入によって支えられ続けています。「当会計年度の年初から今日までにおいて、中央政府は 791 億ポンドの税収を含む 1,102 億ポンドの歳入を得、昨年度の同時期と比較して約 5% の増である」と報告されています。

昨日、財務大臣フィリップ・ハモンド氏は、マンション・ハウスでのスピーチにおいて、産業界のリーダーに説明を行い、中央政府は予算均衡に傾注しているものの、当初の計画よりも長引きそうであることを認めました。

また、本日の国家統計局の数値によれば、2017 年 3 月期の公共部門の純借入 (公共部門の銀行を除く) は、対前年度比 256 億ポンド減の 466 億ポンドとなり、2008 年 3 月期から最低水準の純借入となりました。

予算責任局は、公共部門の今年度の純借入 (公共部門の銀行を除く) は、今年度中に 583 億ポンドになると予測しています。

URL: <http://www.publicfinance.co.uk/news/2017/06/public-sector-borrowing-falls-lowest-level-2008>

訳出：遠藤尚秀 (機関誌編集委員会委員)

8 エリザベス女王 誕生日叙勲：公共部門のリーダー

出典：Public Finance 2017年6月19日（月曜日）

公共サービスの指導者や助言者らに、今年も女王誕生記念叙勲が授与されました。

NHS（国民保健サービス）連合の最高経営責任者（CEO）であり、次期の医学評議会のトップとなる Niall Dickson 氏に CBE の勲位が授与されました。同氏は来月開催される CIPFA の国際会議で講演の予定です。

NHS 連合の議長の Stephen Dorrell 氏は、この叙勲について次のように述べています。「ニール氏は、王立基金（King's Fund）から GMC（General Medical Council：医事委員会）、現在は NHS において強力なリーダーシップを発揮し、記録に残るイノベーションを実現しました。「医療提供者と指導者は、これまでにない圧力にさらされていますが、彼以外それに対処できる人物はいません。彼は、保健医療分野で働く貴重な人材です。私たちは、彼に最もふさわしく名誉あるアワードを授与されたことに祝意を表します」。

健康財団の研究と経済学のディレクターである Anita Charlesworth 氏は、NHS の財務についての数多くの助言をしたことで、CBE が授与されました。財務省事務次官である Tom Scholar 氏、保健省事務次官である Chris Wormald 氏には、ナイトの称号が与えられました。

予算責任局のシニア財務アナリストである Phillippa Todd 氏は、公共財政と透明性に貢献したとして OBE を授与されました。コミュニティ・地方自治省住宅計画局の元ディレクターである Peter Schofield 氏には、バス勲章（※英国騎士団勲章の一つ）が授与されました。

その他にも、多くの地方政府に在職する CIPFA の会員や役職者に栄典が授与されています。CIPFA 会員であるメンバーである Leeds 市の副市長であり、地方自治法第 151 条役員（Section 151 Officer）である Alan Gay 氏は OBE を、Leeds 市の市長である Judith Blake 氏は、CBE を授与しました。Sunderland 市の投資責任者である Thomas Hurst 氏にも、地域への投資を通じた経済的発展期に寄与したとして OBE が授与されました。Warwickshire 県の知事であり、地方自治体協会の地域福祉委員会委員長である Izzi Seccombe 氏、LGA の政策責任者である Sally Burlington 氏は、成人社会福祉サービスへの貢献があったとして、OBE が授与されました。Alderman Allan Ewart 氏にも、北アイルランドの地方自治体およびコミュニティへの功績により MBE が授与されています。

このほか、Leeds 教育病院（※大学附属病院のような病院）NHS トラスト、財務担当ディレクターである Thomas Whitfield 氏には OBE が、スコットランドの上級警察官である Rose Fitzpatrick 氏には CBE が授与されました。

※英国の勲章には、①ナイト・グランド・クロス又はデーム・グランド・クロス（大十字騎士：G B E）、②ナイト・コマンダー又はデーム・コマンダー（司令官騎士：K B E / D B E）、③コマンダー（司令官：C B E）、④オフィサー（将校：O B E）、⑤メンバー（団員：M B E）がある。

URL：<http://www.publicfinance.co.uk/news/2017/06/public-service-leaders-recognised-queens-birthday-honours>

訳出：丸山恭司（日本支部研究理事）

9 医療と社会福祉の統合

出典：Public Finance 2017年6月6日（火曜日）

医療と社会福祉を統合するベスト・プラクティスを共有することは困難です。しかし、英国勅許公共財務会計協会のウェビナーは、プリマス市の先進的な取り組みにスポットライトを当てて、この問題に取り組んでいます。

現在、医療と社会福祉におけるサービスの統合は、公共経営の重要課題であり、増加し高齢化する人口に、持続可能な医療と介護を提供する主要な方法となっています。政府が明確な方針を示さないなかでも、幾つかの地方自治体でその解決策が開発されています。しかし、その内容は広く共有されていません。

英国勅許公共財務会計協会 CIPFA は、財務管理の専門家に、この統合を進める重要な役割があると考えています。役所の常であるリスク回避の姿勢が、有用な提言を拒否する要因となる一方で、革新的な手法は財務を先導するケースが多いと考えられます。直近の「公共財務イノベーションアワード」では医療と社会福祉の統合分野で、幅広い革新的なアイデアが紹介されました。その際、財務とコミッショニングの協働が、実際に課題を前進させる際に有益であり、財務部門の自治体職員の役割を高め、統合システムにおける高いバリュー・フォー・マネーが生まれています。

CIPFA は 6 月 14 日にウェビナーを開き、この問題を検討し、財務部門の重要性を確認しました。そこでは、プリマス市と北、東、西デボン診療委託グループの医療・健康増進統合チームのデービッド・ノーゼイ氏（アワード受賞者）がウェビナーに参加し、地方自治体と国民医療サービス NHS の財務チームが、コミッショニングで協働する革新的な手法が紹介されました。これらの革新的な取り組みは、医療と社会福祉だけでなく、余暇、住宅、子ども向けサービスをカバーしています。この合計金額は 4 億 2,800 万ポンドにもものぼるものの、プリマス市のチームは、予算削減に有用な財務・組織・システムのリスクを軽減する革新的な方法を導入しました。財務管理関係者がこの統合プログラムに大きな貢献を果たしたのです。

6 月 14 日のウェビナーでは、地方自治体と診療委託グループがどのようなパートナーシップを展開したのかが検討されることになっています。財務管理部門が貢献する統合促進の方法について、英国勅許公共財務会計協会 CIPFA の無料ウェビナーへの登録を案内しています。

※ウェビナー（Webinar）とは、Web と Seminar をあわせた造語で、ウェブ上で行われるセミナーのこと。

URL：<http://www.publicfinance.co.uk/opinion/2017/06/moving-forward-health-and-social-care-integration>

訳出：行正彰夫（日本支部業務理事）

英国勅許公共財務会計協会日本支部事務局 CIPFA Japan Branch

住所：〒658-0001 神戸市東灘区森北町 1-7-13 ARK 玉谷 306

電話番号：☎ 078-219-6868

電子メール：info@cipfa.jp URL：<http://www.cipfa.jp>

※ CIPFA Japan News Letter の記事内容の無断転載を禁じます。ただし、News Letter の各号全体を、社内 LAN 等で転送する等により地方自治体関係者間で共有することに支障はありません。また、翻訳はボランティアスタッフの協力で行っているものであり、訳出内容についての照会は受け付けません。URL で示した原文を唯一の正本とします。